

平成 27 年度 福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と
人材育成に関する検討委員会
(略称：廃炉地盤工学委員会)

議事録

日時 : 2016 年 1 月 7 日 (木) 15:00~17:00

場所 : オフィス東京 4 階 L4 会議室

参加者 : 別紙参照

配布資料 :

- ① 廃炉地盤工学委員会名簿
- ② JGS 申請書類 (抜粋版)
- ③ 講習会案内「実験から把握する地下水流速」
- ④ 第 51 回研究発表会 (岡山大会) DS 等企画に関するアンケート
- ⑤-1 廃炉基盤研究プラットフォームの位置付け及び活動内容
- ⑤-2 ポスター原稿・廃炉有識者会議 (JGS)
- ⑥ 廃炉地盤工学委員会_委員公募文案

議事内容 : (敬称略)

1. 委員長挨拶 (東畑 地盤工学会長)

開会にあたっての挨拶が行われた。要点は以下のとおり。

- ・ 廃炉地盤工学委員会の設立と、当該委員会の役割 (目的) について説明が行われた。
- ・ 当該委員会では、現実的に実施可能 (施工可能) な技術を皆で考えるスタンスを持つことが重要であることが述べられた。

2. 自己紹介

参加メンバーの自己紹介を実施。

3. 採択された JGS 廃炉プロジェクトの内容紹介 (東畑 地盤工学会長)

当該プロジェクトの内容について、(国研) 科学技術振興機構 (以下、JST と記す) への申請書類を基に、これまでの取り組みや当該プロジェクトの全体計画・今年度研究内容などに加え“廃炉地盤工学”の概略について説明があった。

4. 廃炉地盤工学委員会の設置 (地盤工学会／後藤)

廃炉地盤工学委員会設立の趣意、構成メンバー、研究体制等について説明が行われ、質疑応答が行われた後、委員公募 (案) について承認を得た。

なお、主な質疑内容を以下に示す。

(質疑) 若手技術者は本委員会の構成メンバーに入れないのか (鹿島建設／田中)。

(回答) 将来的に若手技術者や研究者が主体として参加できるような仕掛け(若手の会)を組織する(小峯)。

5. 廃炉地盤工学の概念と個別基盤研究内容に関するブレインストーミング(地盤工学会/後藤・早稲田大学/小峯)

廃炉地盤工学の概念や意図、及び地盤工学会側の方針について説明を実施した後、ブレインストーミングが行われた。当該議事における質疑内容、及びブレインストーミングで得られた主な意見を以下に示す。

(質疑) 最終的なアウトプットが不明瞭(アサノ大成/河西)

(回答) 教育(人材育成)と技術開発の両面がある。(鈴木)。

(質疑) 本プロジェクトで研究する技術は、1Fの廃炉を対象として、同事業に適用可能な技術という理解でよいか、また、既存技術を技術マップに位置づける際には、①何を目的として開発された技術なのか、②新規技術なのか、を明記しておく必要がある。(京都大学/嘉門)

(回答) 総合工学として提示することを考えている。

(質疑) ボーリングにおける実際の掘削技術は誰に聞けばよいか。

(回答) 地盤、土木、資源分野の技術者である。

(質疑) 技術開発を進める前にニーズ(東電ほか)を把握する必要があるのではないか(発言者不明)

(回答) 各委員にはメーリングリスト(1F廃炉ALL)にて、本資料で提示した技術マップを送付する(鈴木)。

(意見) 1F廃炉事業におけるより詳細な情報は取得できないか?(京都大学/嘉門)

(回答) 技術研究組合 国際廃炉研究開発機構(以下、IRIDと記す)において生データに近い資料を提示している。各委員にはIRIDよりメーリングリスト(1F廃炉ALL)にて、該当URLを連絡する(内閣府/近藤)。

(意見) 人材を育成するという観点が乏しいのではないか(大成建設/井尻)

(意見) 企業の若手が集まって議論できるような場が設けられないか(発言者不明)

(意見) 大学等研究機関には、施工学を教えることができる人材に乏しいのが実情である(後藤)

(意見) 無人化施工について(内閣府/豊口)

(意見) 学生が集まるようなテーマ・視点が必要ではないか(鹿島建設/須山)

(意見) 従来の地盤工学の応用編としての「廃炉地盤工学」が対象とするのは、土木分野の学生であると考えられる。なお、その内容から学部学生(初等教育)ではなく、大学院生向けの講義が望ましいと考える(広島大学/半井)

6. 地盤工学講習会「実験から把握する地下水流速」のご案内（千葉工業大学／鈴木）

本プロジェクトで実施する標記講習会に関する説明が行われた。なお、本講習会の案内は小峯先生からアナウンスされることとなった。

7. 2016 年度 JGS@岡山における特別セッションの内容（早稲田大学／小峯）

第 51 回地盤工学研究発表会における特別セッション「原子力発電所廃止措置のための地盤工学（廃炉地盤工学）の創出と人材育成」について説明が行われた。

8. JST ほか関連する他機関の情報提供 ①・②（早稲田大学／小峯）

本プロジェクトに関連した、廃炉基盤研究プラットフォームの位置付け及び活動内容についての説明や JST 主催の廃炉有識者会議における議事内容等について説明が行われた。

9. その他（①委員公募文案・②講演会：廃炉地盤工学とは）（早稲田大学／小峯）

委員公募文案等について説明が行われた。なお、公募は今年度中に実施し、来年度の 4 月か 5 月に第 2 回の委員会が開催されることが確認された。

以上